



保護者の皆様へ 子どもを不慮の事故から守りましょう！

1～14歳の子どもの死因の上位に「不慮の事故」があります。残念ながら、長年にわたりの傾向は変わっていません。このような現状を踏まえ、消費者庁では、消費者の立場に立って子どもを不慮の事故から守るため、「子どもを事故から守る！プロジェクト」を推進しています。

シンボルキャラクターの「アブナイカモ」とテーマソングによる親しみやすい啓発活動に加え、子どもの事故に関する情報や豆知識について「子ども安全メール from 消費者庁」を週1回配信しています。

「子ども安全メール from 消費者庁」についてはこちら→



熱中症を防いで元気に遊ぼう！

夏、あついときに体の調子が悪くなってきたら、「熱中症」かもしれないよ。子どものみんなは熱中症になりやすいから、こんなことに気をつけよう。



- ・外で遊ぶときは、こまめに水を飲んで休けいしながら遊ぼう！
- ・すずしい格好をして、帽子も忘れないようにしよう！
- ・まいにち栄養のあるごはんを食べ、スポーツや体をうごかさず遊びをして、あつさに負けない体力をつけよう！



■保護者の方へ

- ・身長が低い幼児は大人より高温の環境にいるため特に注意が必要です。
- ・より地面に近く熱がこもりやすいベビーカー内の温度にも十分注意！

ジュースやお酒がよくたしかめよう！

ジュースとまちがえて、お酒を飲んじゃう子どもがいるんだって！子どもにとって、お酒は毒といっしょ。ぜったいに飲まないようにしよう。

おいしそうなフルーツの絵がカンにかいてあるフルーツ味のお酒もあるから気をつけて！カンのどこかに「お酒」と書いてないか探して、ジュースだと確認してから飲むようにしよう！



■保護者の方へ

- ・アルコール飲料は、子供が自分で間違えて飲んでしまうこともあるので、子どもの目に触れない、または手の届かない場所に、清涼飲料とは別にして保管しましょう。



花火でやけどをしないように気をつけよう！

夏といえば花火だ。いろいろな花火があって楽しいけど、きれいな花火は全部あつい火のかたまり。体や服についたらやけどをするので、人に向けたり、投げたりしてはダメ。水が入ったバケツを用意して、かならず大人といっしょにやろう。



■保護者の方へ



- ・小さいお子さんは、花火が熱いものと認識できないため、火玉や火花、燃え終わって間もない花火を直接手で触ってしまうこともあります。
- ・やけどをした場合には、患部をすぐに流水で冷やしてください。